

令和7年8月教育委員会議定例会 議事日程

日 時 令和7年8月29日（金）

午前9時30分より

場 所 町民センター 2Aクラブ室

1 開会宣言

2 署名委員の指名

3 教育長事務報告

4 報告・協議事項

- （1）令和7年度二宮町教育委員会点検及び評価報告書（令和6年度事業分）について
- （2）教育講演会のアンケート結果について
- （3）教育相談および教育支援室の状況について
- （4）コミュニティ・スクールの運営状況について
- （5）その他

＊ 次回教育委員会議予定

5 閉会宣言

令和 7 年 8 月定例教育委員会議 教育長事務報告

(R7.7.24～R7.8.28)

月	日	曜日	内 容
7	24	木	定例教育委員会議
7	28	月	二宮小学校校内研修
7	29	火	町議会教育福祉常任委員会やまびこ視察
7	30	水	二宮小学校放課後子ども教室（ラディアン）
			災害対策本部（津波警報）
7	31	木	町文化祭実行委員会
8	1	金	教育講演会（生成 AI の時代におけることばの力、思考力、学力）
8	4	月	令和 8 年度予算編成に伴うヒアリング（教育総務課、教育指導課）
8	5	火	政策会議
			第 34 回ガラスのうさぎ像平和と友情のつどい
8	6	水	令和 8 年度予算編成に伴うヒアリング（生涯学習課）
			道徳教育研究会
8	8	金	JICA 古澤教諭来庁
			社会教育委員会議
8	19	火	政策会議
8	22	金	校長会
			議会全員協議会（予備費充用）
8	26	火	令和 8 年度予算編成に伴うヒアリング（生涯学習課）
8	27	水	第 2 回中地区教育長会議

8月政策会議結果報告

令和7年8月5日（火）開催分

【町長あいさつ】

令和8年度予算編成に伴うヒアリングが始まっており意見交換しているが、その場だけですべての課題は議論を尽くせないため、問題意識を共有して進めていきたい。

【主な付議案件】

- 1 こどもの権利条例策定とこども会議実施の方針について
(こども支援課)
 - ・こどもの権利条例策定とこども会議の考え方及び令和8年度までのスケジュールについて報告された。

【情報交換】

- 特になし。

令和7年8月19日（火）開催分

【町長あいさつ】

政党要望、町村会要望等の活動を行っているところであり、今後もタイムリーに国等への要望を行っていく。

【主な付議案件】

- 1 予備費の充用について (財務課・教育総務課)
 - ・小中学校の空調機について緊急修繕が必要になったことから、予備費より8,433,000円を充用し対応した。
- 2 にのみや学園の中学校の制服について (教育指導課)
 - ・にのみや学園の中学校の制服が決定し、小中学校及びラディアンにおいて展示を行う。

【情報交換】

- 特になし。

教育総務課・教育指導課事業報告

事業報告

(令和7年7月24日～令和7年8月28日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	人数
7月28日	月	学校研究担当者会	教育支援室	6
7月30日	水	初任者研修会	(心泉学園等町内施設見学)	16
8月1日	金	第2回小中一貫教育カリキュラムワーキンググループミーティング	各校・オンライン	—
8月1日	金	二宮町教育講演会	ラディアン	172
8月1日	金	小中一貫カリキュラム研究会(プログラミング・技術)	オンライン	7
8月15日	金	学校事務連携会議	町民センター	7
8月18日	月	初任者研修会	教育支援室	6
8月18日	月	道徳教育研修会	町民センター	6
8月20日	水	幼稚園・保育園・小学校研修会	町民センター	55
8月20日	水	小中一貫カリキュラム研究授業(図工・美術)	二宮西中学校	4
8月22日	金	校長会	町民センター	14
8月26日	火	共同学校事務室	二宮中学校	7

事業予定

(令和7年8月29日～令和7年9月25日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	予定人数
9月1日	月	小中学校始業式	—	—
9月4日	木	情報教育担当者会	オンライン	8
9月5日	金	にのみや学園小学校交流会	ラディアン	210
9月9日	火	共同学校事務室	二宮中学校	7
9月12日	金	児童・生徒指導担当者、教育相談コーディネーター担当者会	オンライン	18
9月16日	火	学校事務連携会議	町民センター	7
9月24日	水	共同学校事務室	二宮中学校	7
9月25日	木	にのみや学園小中交流会①	二宮中、二宮西中	—

学校給食センター

事業報告

(令和7年7月24日～令和7年8月28日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	人数
8月27日	水	職場体験学習受入(二宮西中学校)	給食センター	5

事業予定

(令和7年8月29日～令和7年9月25日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	予定人数
9月2日	火	中学校 2学期給食開始	-	-
9月3日	水	小学校 2学期給食開始	-	-
9月24日	水	納入物資業務監査	給食センター	5

生涯学習課事業報告

(令和7年7月24日～8月28日)

月/日	曜日	会 議 ・ 行 事 等	開 催 場 所	定員	出席者/人数	担当班
7/26	土	夏休み！ 図書館おしごと体験 (午前の部/午後の部 内容は同じ)	図 書 館	8人	7人	図書館
7/29	火	第2回青少年指導員連絡協議会	ミーティングルーム2	19人	10人	学習
7/30	水	放課後子ども教室（二宮小③、全学年）	ラディアン	-	78人	学習
7/30	水	ブックスタート	保健センター	-	9組	図書館
7/31	木	第1回文化祭実行委員会	ミーティングルーム2	19人	16人	学習
7/31	木	放課後子ども教室（二宮小④、全学年）	ラディアン	中止		学習
8/2	土	図書館事業『親子で学ぶおこづかい教室』 (協力：J-FLEC)	ミーティングルーム2	15組	10組 24人	図書館
8/6	水	ちいちゃいおはなし会	図書館	-	23人	図書館
8/6(水)～ 8/8(金)		広域連携中学生交流洋上体験研修	新島	15人	15人	学習
8/8	金	社会教育委員会議	ミーティングルーム1	8人	6人	学習
8/16	土	こわ～いおはなし会（8月分おはなし会）	図書館	-	88人	図書館
8/19	火	放課後子ども教室（一色小⑥）	一色防災コミュニ ティセンター	-	20人	学習
8/20(水)～ 24(日)		リサイクルコーナー	展示ギャラリー	-	-	図書館
8/22	金	わらべうたであそぼう！	和室		10組	図書館
8/23	土	ふたみ記念館ボランティア企画『海の生きもの、 風に乗る！！モビールを作ろう』	ふたみ記念館	10人	8人	学習
8/24	日	愛のパトロール	町内	19人	9人	学習
8/26	火	放課後子ども教室（二宮小⑤、全学年）	ラディアン	-	95人	学習
8/28	木	放課後子ども教室（二宮小⑥、全学年）	ラディアン	-	85人	学習
8/28	木	図書館協議会	町民センター	8人	7人	学習

生涯学習課事業予定

(令和7年8月29日～9月25日)

月/日	曜日	会 議 ・ 行 事 等	開 催 場 所	開始時間	担当班
8/29	金	放課後子ども教室（3校合同）	ラディアン	①10:00 ②13:30	学習
8/29	金	二宮西中学校職場体験	図書館	10:00	図書館
9/5	金	第3回スポーツ推進委員連絡協議会	ミーティングルーム1	19:15	スポーツ
9/10	水	ちいちゃいおはなし会	図書館	10:30	図書館
9/12	金	第2回文化祭実行委員会	ミーティングルーム2	13:30	学習
9/14	日	ニューススポーツ体験会	二宮小学校	9:30	スポーツ
9/14	日	相続・遺言講座	ミーティングルーム2	14:00	図書館
9/19	金	わらべうたであそぼう！	和室	10:00	図書館
9/20	土	おはなし会	図書館	10:30	図書館
9/20	土	町民大学講座「県西地区鉄道の歴史及び遺産」	ミーティングルーム2	14:00	学習
9/21	日	町民大学講座「一つ一つに願いをこめて！ 雛の吊るし飾り作り」 全4回 10/5、10/19、11/9	ミーティングルーム1	13:30	学習
9/22(月)～ 26(金)		特別館内整理休館（蔵書点検）	図書館	—	図書館

No.	項目	ページ数	内容	対応
1	総論 ○ K G I（重要目標達成指標）の進捗状況	3	K G I が基準値を下回っている一方で、各評価結果が A B 評価にとどまっている点については、やや整合性に欠ける印象を受けました。K G I と取組が連動するものではない点は、理解していますが、K G I が目標に届かなかった要因については、分析を行う必要があると考えます。	K G I が基準値を下回っている中で各評価結果が A B 評価という結果には、一定のギャップがあることは認識しており、来年度に向けた課題として整理すべき内容だと考えています。別途議論の機会を設けられるよう準備いたします。
2	総論 ○ K G I（重要目標達成指標）の進捗状況	3	他の K P I については、計画値及び実績値の年度別推移が確認できる形式となっているので、K G I についても同様に、令和5年度の数値を含めた形で履歴が確認できるように対応できないか。	○修正する 他の K P I と同様に、K G I についても令和5年度の実績値を含めた年度別の数値が確認できるよう、修正いたしました。
3	（1）自ら学ぶ力を養うための教育の推進 K P I ④「 <u>週3回以上、授業で I T C 機器を使用する割合</u> 」	6	小学校の数値が令和5年度より下がっており、かつ令和6年度の計画値を下回っているため、評価は A ではなく B とすべきではないでしょうか。 また、小学校の数値が低下している点については、説明を加えていただきたい。	○修正する 達成状況を B に修正しました。 また、P7改善点及び今後の方向性に「学習内容や目標に応じて、最適手段を選ぶという考え方のもと、ICT機器については、必要な場面で効果的に使用する方向にシフトされていることもあり、特に小学校の数値が低下しているため、KPIの見直しを検討する。」を追加しました。
4	（1）自ら学ぶ力を養うための教育の推進 K P I ⑤「 <u>学習の中で I C T 機器を使うのは勉強の役に立つと感じている児童生徒</u> 」 K P I ⑥「 <u>中学3年生の C E F R A 1 レベル相当以上の資格を取得しているまたは、相当以上の英語力を有すると思われる割合</u> 」	7	指標名のフォントサイズが小さいため、適切なサイズに統一し、2行表記にした方がより見やすくなるかと思います。	○修正する 2行表記に修正しました。
5	（1）小中一貫教育の推進 K P I ⑥「 <u>地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒</u> 」	9	計画値と実績値との間に大幅な差異が認められるため、計画値の妥当性について見直しが必要と考えられます。	●修正しない 計画値と実績値に乖離につきましては、次年度の教育委員会基本方針策定時に実績との乖離も踏まえた見直しを検討いたします。
6	（1）小中一貫教育の推進 K P I ⑦「 <u>小中一貫教育の認知度</u> 」	9	達成率が 1 0 0 % 達成していることから、評価は A が妥当かと考えます。	○修正する 達成状況を A に修正しました。
7	（1）小中一貫教育の推進 K P I ⑧「 <u>中学校に授業や部活動の見学に行くことで、中学校生活への期待が高まったり不安が少なくなりましたか</u> 」	9	評価不可とされている項目に関し、今後の取扱い方針を指標の見直し欄に記載すべきではないかと考えます。	○修正する 改善点及び今後の方向性欄に「評価不可項目については、評価が可能となるよう、必要な体制整備や調査等を進める。」を追加しました。
8	（1）支援が必要な児童生徒への対応の充実 K P I ①「 <u>誰にも相談していない児童生徒数</u> 」	12	生徒数が計画値より少ないという点は、達成状況としては評価 A が妥当かと考えます。	○修正する 達成状況を A に修正しました。
9	（1）支援が必要な児童生徒への対応の充実 K P I ④「 <u>不登校率</u> 」	13	率が計画値より少ないという点は、達成状況としては評価 A が妥当かと考えます。	○修正する 達成状況を A に修正しました。
10	（2）教職員の働き方改革の推進 K P I ①「 <u>教職員の時間外勤務の月の平均時間</u> 」	14	現状の削減目標では、基準値から目標値に到達するには十分な時間数の削減が見込めず、より大きな削減幅を設定する必要があるのではないかと考えられます。その観点からすると評価 B が適切だと考えられます。	●修正しない 今回の達成状況評価につきましては、令和6年度教育基本方針の指標を元に評価を行っております。 ご指摘の点につきましては、次年度の教育委員会基本方針策定時にご意見も踏まえた見直しを検討いたします。

第1章 総論

二宮町教育委員会は、効果的・効率的な教育行政の推進を図るため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、「二宮町教育委員会点検・評価報告書」をまとめました。

KGI（重要目標達成指標）の進捗は、基準値と比較し小学校は0.9、中学校は6.2の減少となっています。小・中学校とも基準値を下回っておりますが、事業全体の取組状況等を踏まえ、令和6年度の取り組みは一定の成果を上げたものと評価しました。

評価対象14施策のうち、総合評価「A評価（大いに成果が得られた）」は3事業、「B評価（おおむね適正に取り組んでいる）」は11事業、「C評価（改善する必要がある）」は0事業、「D評価（事業の再検討が必要である）」は0事業という結果となりました。

事業全体としては、一部進捗が芳しくないものもありますが、進捗はおおむね順調であると考えられます。

令和5年度に教育大綱及び教育委員会基本方針を見直し、教育大綱に掲げた基本理念の達成度合いを測る指標としてKGIを、教育委員会基本方針の施策の進捗を測る指標としてKPIを設定し、全体を俯瞰して捉えられるシステムに変更しました。新たな評価システムのもと、施策の進捗を数値化し具体的な分析をできるようになった一方で、分析結果をより効果的に次のアクションへつなげられていないという課題が浮き彫りとなりました。

今後は、施策の推進をより実行性のあるものとするため、具体的な取組の表記に努め、取組を内外へ分かりやすく共有するとともに、ステークホルダー（利害関係者）との協働を意識しながら施策の推進を図ります。また、将来の不確実性が高まる中で、時代の変化や影響を的確に捉えていくため、指標は柔軟な視点で定期的に見直し、教育委員会基本方針と点検評価を連動させながら、着実に施策を進めていきます。

引き続き、子ども達がこれからの時代を生きるために必要な資質・能力を育み、子どもから大人までのすべての人が「共に学び共に育つ教育」を実現できるよう、点検評価における外部評価等も踏まえながら、より一層の施策の推進を図ってまいります。

OKGI（重要目標達成指標）の進捗状況

学校教育・社会教育

項目	基準値	令和5年度実績	令和6年度実績	比較	目標値（令和9年度）
将来に夢や目標を持っている児童生徒（肯定的な回答の割合） 【全国学力・学習状況調査】	小学校 80.5% 中学校 69.6% (令和4年度実績値)	小学校 82.3% 中学校 67.4%	小学校 79.6% 中学校 63.4%	0.9 減 6.2 減	小学校 85.0% 中学校 75.0%

第2章 教育委員会における主要事業 点検評価

施策評価シート（令和6年度実績）

基本方向性	1－① あらゆる学びの基盤となる資質・能力の育成
-------	--------------------------

施策評価

施策	(1)自ら学ぶ力を養うための教育の推進					評価者	教育指導課		
施策内容	児童・生徒に基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるために、各教科における言語活動を基盤とした学び合いを促進させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育みます。また、英語教育やICT環境を活用した学びを通じて、子どもたちの学びの充実を図ります。さらに、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度等を育てるとともに、特別活動との連携による自主的、実践的な力の育成に努めます。								
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)		説明			
	1	言語活動の充実【重点事業】	—	②想定レベル		学校研究等を軸にして、5校が一体となって推進することができた。			
	2	情報活用能力の育成【重点事業】	—	②想定レベル		ICT支援員と連携し、積極的かつ効果的な活用をすすめることができた。			
	3	英語教育推進事業【重点事業】	—	②想定レベル		英語の研修会で、小中学校の英語教育の取り組みについて話し合うことができた。			
	4	道徳教育・特別活動の充実	—	②想定レベル		9年間を見通しながら活動の充実を図ることができた。			
	5	読書機会の充実	—	②想定レベル		中学校では、朝読書を推進することができた。			
	6	学校体育の充実	—	②想定レベル		小中学校の先生で、運動の習慣づくりを行うために計画を立てて実施した。			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R6達成状況
	計画	小学校	84.0%	80.5%	81.6%			85.0%	A
		中学校	86.0%	87.1%	87.8%			90.0%	
	実績	小学校		87.0%	87.4%				
		中学校		75.3%	89.8%				
指標の見直し	—								
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	自分と違う意見について考えるのは楽しいと感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R6達成状況
	計画	小学校	75.0%	65.6%	66.7%			80.0%	B
		中学校	78.0%	83.5%	85.1%			80.0%	
	実績	小学校		72.2%	80.1%				
		中学校		78.0%	74.1%				
指標の見直し	—								
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	学校の勉強がよくわかる							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R6達成状況
	計画	小学校	89.0%		89.0%			95.0%	B
		中学校	86.0%		86.0%			90.0%	
	実績	小学校			91.0%				
		中学校			83.0%				
指標の見直し	—								
重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	週3回以上、授業でICT機器を使用する割合							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R6達成状況
	計画	小学校	63.1%	63.1%	64.8%			70.0%	B
		中学校	85.1%	85.1%	87.6%			95.0%	
	実績	小学校		78.4%	64.4%				
		中学校		95.0%	94.0%				
指標の見直し	—								

重要業績評価指標 (KPI) ⑤	指標名	学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つと感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R6達成状況
	計画	小学校	92.3%	92.3%	93.0%			95.0%	A
		中学校	96.9%	96.9%	97.2%			98.0%	
	実績	小学校		97.2%	87.5%				
		中学校		95.5%	86.0%				
指標の見直し	令和6年度学力学習状況調査において設問が削除されたため、「ITC機器の活用 楽しみながら学習を進めることができる」に指標を変更する。								
重要業績評価指標 (KPI) ⑥	指標名	中学3年生のCEFR A1レベル（英語検定3級レベル）相当以上の資格を取得しているまたは、相当以上の英語力を有すると思われる割合							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R6達成状況
	計画	中学校	45.0%	42.6%	44.5%			50.0%	C
	実績	中学校		17.7%	33.1%				
	指標の見直し	－							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・5校が一体となって学校研究に取り組むことで、進学・進級してもスムーズに話し合いの授業を行うことができるようになった。 ・ICTの活用率が高まり、個別最適な学び及び協働的な学びが促進され、授業改善につながった。 ・英語の授業の楽しいと感じる児童生徒の割合は全国平均より高く、日々の授業での取り組みの成果が出ている。						
	今後の課題	・英語検定奨励金制度の活用が増えてきており、英語検定3級取得者が増加した。 ・端末更新時期を迎え、ICTの効果的活用に向けて、学校の実情にあったICT環境の評価・見直しが必要。 ・言語活動の充実とカリキュラム・マネジメント等による魅力ある授業づくりの推進						
	改善点及び今後の方向性	・日々の授業改善を進めていくとともに、英語検定奨励金制度を活用して、英検にチャレンジする生徒数を増やしていくことが課題である。また、英語に親しむ機会の充実を目指して、中学での海外交流に加えて、小学校でもEnglishDayを設ける。 ・ICTの効果的活用に向けて全職員対象にアンケートを行い、課題やニーズを把握し、今後の整備方針を定める。 ・カリキュラム・マネジメントにより子どもたちが主体的に取り組めるような課題を設定を行ったり、ICT環境をより充実させることで言語活動の充実を図る。 ・学習内容や目標に応じて、最適手段を選ぶという考え方のもと、ICT機器については、必要な場面で効果的に使用する方向にシフトされていることもあり、特に小学校の数値が低下しているため、KPIの見直しを検討する。						
	総合評価							B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

重要業績評価指標 (KPI) ⑤	指標名		英語の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R6達成状況
	計画	小学校	75.5%		75.5%			80.0%	B
		中学校	60.7%		60.7%			65.0%	
	実績	小学校			71.2%				
		中学校			-				
指標の見直し		－							
重要業績評価指標 (KPI) ⑥	指標名		地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R6達成状況
	計画	小学校	49.2%	49.2%	50.7%			55.0%	A
		中学校	46.4%	46.4%	47.3%			50.0%	
	実績	小学校		74.5%	79.6%				
		中学校		62.4%	69.4%				
指標の見直し		－							
重要業績評価指標 (KPI) ⑦	指標名		小中一貫教育の認知度						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R6達成状況
	計画		37.6%	37.6%	40.7%			50.0%	A
	実績			42.0%	46.4%				
	指標の見直し		－						
重要業績評価指標 (KPI) ⑧	指標名		中学校に授業や部活動の見学に行くことで、中学校生活への期待が高まったり不安が少なくなりましたか						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R6達成状況
	計画				-				評価不可
	実績				77.0%				
	指標の見直し		－						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・小中交流会や小小交流会などへのみや学園プロジェクトを着実に進めることができた。 ・教育講演会で小中一貫教育の取り組みを伝え、小中一貫教育の認知度が上がってきている。 ・総合的な学習の時間で、防災やまちづくり、平和、環境など二宮町をテーマにした学習に一貫して取り組むことができた。 ・各校や教育委員会が積極的に情報発信し、にのみや学園の取組を周知することができた。 ・社会科副読本をデジタル化し、全学年で活用できるようにした。郷土学習にも資するツールにもなった。
	今後の課題	・子ども同士の交流については、より高い教育効果を得られるように、対象学年、内容等を研究する。 ・にのみや学園の取り組みが地域に少しずつ伝わってきているが、まだ十分伝わっていない。 ・教室での学びを日常生活や地域と関連付けることは深い学びへ導くために必要な手立てとなる。地域とのかかわりを大事にした教育活動を充実させるために、地域学校協働活動推進員と教員との連携を強化することが課題である。
	改善点 及び今後の方向性	・にのみや学園プロジェクトを実施する際は、保護者や地域にも参観を呼びかける。また、学校へ行く週間も積極的に周知する。 ・研究会からの提言書を受けて、今後の施設一体型小中一貫教育校設置に向けた流れや事業の進め方と次のアクションを具現化する。 ・学校運営協議会長等情報交換会にて、地域学校協働活動推進員と教員との連携について話題にして、好事例を共有する。 ・評価不可項目については、評価が可能となるよう、必要な体制整備や調査等を進める。
	総合評価	

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和6年度実績）

基本方向性	2－① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(1)支援が必要な児童生徒への対応の充実					評価者	教育指導課		
施策内容	誰もが安心して通うことができる学校づくりを進めるとともに、一人ひとりの教育的ニーズに応じた多様な学びの場の確保に努めます。また、学校、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの専門職や、医療・福祉等の関係機関と連携をとりながら、児童生徒や保護者の思いに寄り添った切れ目のない相談支援体制の充実を図ります。								
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)		説明		
	1	教育相談体制（就学相談含む）の充実【重点事業】		－	②想定レベル		SC,SSWの適正配置し、早期発見・早期対応できる体制を整えることができた。		
	2	インクルーシブ教育・支援教育の充実【重点事業】		－	②想定レベル		支援教育補助員の増員、まなびの教室の新設など共に学ぶ仕組みを整えた。		
	3	幼保小連携推進事業		－	②想定レベル		スタートカリキュラムを意識した連携事業を実施することができた。		
	4	支援教育補助員の配置		－	②想定レベル		支援を必要とする児童生徒が増加している状況を踏まえて、3名増員した。		
	5	医療的ケア受入実施体制の確立		－	①想定以上		医療的ケア看護職員を配置して、安心して学べる環境を整備することができた。		
	6	中学校の制服の在り方の検討【重点事業】		－	②想定レベル		アンケートをもとに、今後の制服の方向性を計画立てることができた。		
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	誰にも相談していない児童生徒数							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R6達成状況
	計画	小学校	0人	0人	0人			0人	A
		中学校	7人	7人	5人			0人	
	実績	小学校		4人	0人				
		中学校		1人	1人				
指標の見直し	－								
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	困ったことがあれば先生に相談できると回答した児童生徒の割合（肯定的な回答の割合）							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R6達成状況
	計画	小学校	84.0%	60.0%	65.0%			90.0%	B
		中学校	74.0%	65.5%	65.5%			80.0%	
	実績	小学校		64.2%	73.3%				
		中学校		61.8%	57.0%				
指標の見直し	全国学力学習状況テストから町独自調査（小5～中3）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値・目標値見直し】								
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	新規不登校者数							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R6達成状況
	計画	小学校	5人	5人	5人			5人	C
		中学校	15人	15人	15人			15人	
	実績	小学校		4人	1人				
		中学校		4人	-5人				
指標の見直し	－								

重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名		不登校率						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況
	計画	小 低	0.9%	0.9%	0.9%			0.9%	A
		小 高	2.1%	2.1%	1.7%			2.1%	
		中学校	6.2%	6.2%	4.5%			6.2%	
	実績	小 低		2.0%	0.9%				
		小 高		1.7%	1.1%				
		中学校		4.5%	0.8%				
	指標の見直し		—						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・SC・SSWを常駐するなど教育相談体制を強化することができた。 ・スクリーニング実施を通して、これまで以上にきめ細かく対応するための仕組みを整えた。 ・まなびの教室、校内教育支援センターなど「共に学ぶ、共に育つ」ためのシステムづくりを進めることができた。 ・教育支援室の柔軟な運営について改善を図ることができた。 ・フリースクール等とのネットワーク会議を開催し、学校と関係機関の顔の見える関係づくりをすすめることができた。 ・医療的ケア実施に係るガイドラインに基づき、適切に医療的ケアを実施することができた。 ・幼保小の連携事業を工夫することで、異学年交流の充実を図ることができた。
	今後の課題	・町全体で不登校児童生徒は増加し続けている。すべての子どもを対象とした予防的対応とケースに応じた個別対応を組み合わせた重層的支援を行う必要がある。 ・配慮を必要とする児童生徒が増えていることから、子どもたちの学校生活を支える支援教育補助員の増員が不可欠である。 ・通級指導教室、校内教育支援センターの目的や内容を教職員全体で正しく理解して、一人ひとりに合った適切な学びの場を整える必要がある。 ・心理検査依頼件数が増加し、現在の体制では対応が難しい。
	改善点 及び今後の方向性	・校内教育支援センターを先行して設置した学校の不登校児童数の増加に歯止めがかかったことから、校内教育支援センターを全校に設置する。 ・心理検査を行うカウンセラーを確保する。 ・受容的かつ共感的な学級集団づくりを推進する。 ・カリキュラム研究等を通じた魅力ある授業づくりをすすめる。 ・関係機関との連携やICTの活用等を通じた不登校児童生徒との関係づくりを進める。 ・幼保小連携事業の内容の充実を図る。
総合評価		B

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和6年度実績）

基本方向性	2－① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(2)教職員の働き方改革の推進					評価者	教育総務課		
施策内容	「学校の働き方改革に関する基本方針」に基づき、学校間ネットワークや統合型校務支援システム、タブレット端末等の有効活用を進めるほか、教職員が担うべき業務の適正化についても検討を進め、校務や教材研究等に集中できる時間や児童生徒と向き合う時間の確保に向けた取り組みを推進します。また、勤怠管理システムの活用や部活動の地域移行の推進等により、ワークライフバランスを含むタイムマネジメント等の意識改革を進め、教職員一人ひとりの心身の健康保持の実現と、やりがいをもって職務に従事できる環境を整備します。								
主な関連事業	予算等事業名		＜参考＞ 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)			説明		
	1	働く場としての環境整備【重点事業】	－	②想定レベル			校務支援システムなどのICT環境、SCなどのサポート人材の充実など、職場環境の改善の一助となっている。		
	2	部活動の地域移行に向けた検証【重点事業】	－	③限定的			将来に向けて、部活動における条件の整理を開始できた。		
	3	学校の運営に係る地域人材の活用【重点事業】	－	②想定レベル			地域の方の協力を得て、地域教育力を活用した授業が行えている。		
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名 教職員の時間外勤務の月の平均時間								
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況
	計画	小学校	36.3時間	36.3時間	33.2時間			30.0時間	A
		中学校	58.4時間	58.4時間	58.4時間			30.0時間	
	実績	小学校		33.2時間	30.0時間				
		中学校		60.5時間	55.5時間				
指標の見直し		－							
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名 教職員に占める高ストレス者の割合								
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況
	計画		13.2%	13.2%	10.3%			10.0%	A
		実績		10.3%	10.1%				
	指標の見直し		－						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

教育相談および教育支援室の状況

～令和7年度の取り組みと計画～

I. 教育相談

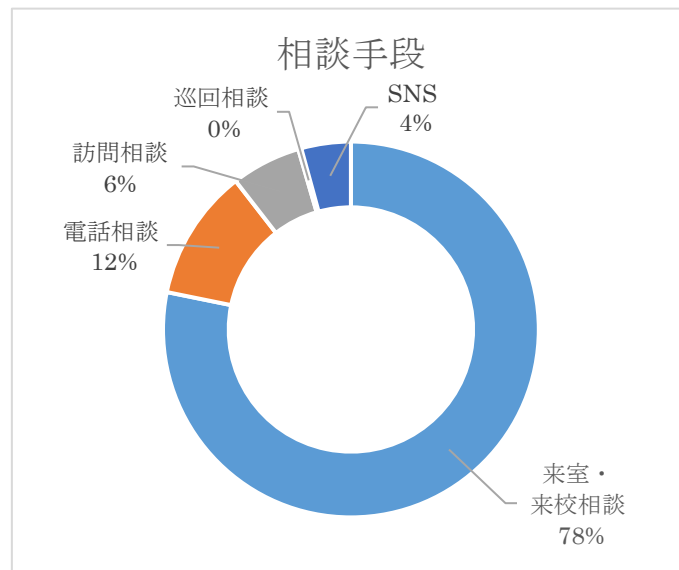
①不登校への早期対応の強化

長期欠席に繋がりそうな児童生徒への早期対応として、各学校と連携を取りながらその方策を考えたり、学校を訪問したりする中で教育相談コーディネーターや学級担任、その他の学校関係者との情報交換を密にし、チーム支援の構築を念頭に置いた支援策を探る。また長期欠席者報告や各校からの情報により SSW や SC と連携し、その都度対策を講じるよう務める。

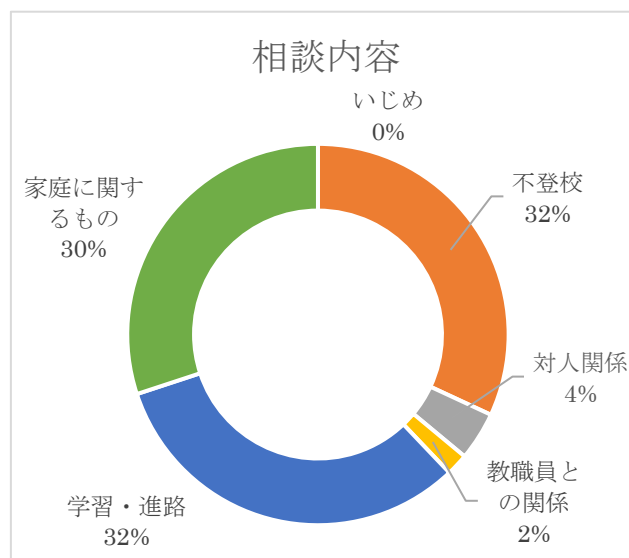
- ・SC との連携・・・子どもの心理面の問題に対して専門的な立場から指導、助言を受けて、効果的な対策を見出していく。
- ・SSW との連携・・・課題を抱える児童生徒を取り巻く環境へ働きかけたり、関係機関等との連携・調整を行ったりして、早期解決を図っていく。

②SSW・心理教育相談員への相談件数

＊相談種別の状況（令和7年4月～7月）



＊相談内容別の状況（令和7年4月～7月）



	来室・来校	電話	訪問	巡回	SNS	合計	前年度差
いじめ	0	0	0	0	0	0	-1
不登校	130	47	31	0	32	240	26
対人関係	31	0	0	0	0	31	7
教職員との関係	14	0	0	0	0	14	6
学業・進路	230	9	0	2	0	241	-71
家庭に関する	183	29	14	0	0	226	111
合計	588	85	45	2	32	752	78
前年度差	87	-38	9	-5	25	78	78

2. 教育支援室

① 不登校への早期発見・早期対応

- ・不登校や不登校傾向にある児童生徒については、長期欠席者報告書や学校への電話連絡を通じて、状況を定期的に確認。必要に応じて、保護者面談や家庭訪問を実施し、個別の状況に合わせた支援を検討する。
- ・支援の質を高めるため、月に一度のスタッフ会議を開催する。この会議では、各学校の心理教育相談員やスクールソーシャルワーカーと連携し、不登校児童生徒に関する情報の共有や、より効果的な支援方法について協議する。
- ・やまびこ校外学習体験会などを通して、保護者や子どもたちにやまびこの存在や活動内容について知っていただく機会を設ける。

② 通室生への指導の充実

- ・児童・生徒とのコミュニケーションを深め、安心して諸活動に取り組めるよう温かい人間関係の育成やその環境づくりに努める。
- ・教育相談や諸活動を通じて、児童・生徒一人ひとりが抱えている課題を把握し、教育支援室スタッフと連携しながら段階的な自立に向けての弾力的支援を行う。
- ・児童・生徒の興味、関心、特技など個に応じた活動を取り入れ、生活意欲、学習意欲を高める指導を行う。
- ・共同作業・体験学習など小集団活動を通して社会性を育成し、対人関係の不安を取り除き、集団への適応能力を養う。
- ・このペースに合わせた基礎学力の補充により学習の遅れに対する不安感を和らげ、学ぶ喜びと達成感を味わい、学習への意欲を高める。
- ・家庭や在籍校、専門機関との情報交換を密にしながら一人ひとりのニーズに応じた支援を行う。

③ 保護者との連携

- ・保護者との面談等を継続し、不安な気持ちに寄り添いながら、子どもの自立心や自主性を高められるよう、家庭と連携して支援を進める。
- ・送迎時や電話連絡、通信などを通して、日頃から子どもの様子について情報共有する。これにより、保護者との信頼関係を築く。

④ スタッフ会議の充実

- ・月に1回（必要に応じて随時）スタッフ会議を設定し、個々の児童・生徒の指導の重点項目を定め、それぞれの立場から見とった児童・生徒の様子について情報を共有。その後の指導・支援に役立てる。
- ・各学校の不登校状況等を共有し、早期対応に向けての支援策を検討する。

⑤ 学校や他機関との連携

- ・各学校の行事やそれに関連した活動に、無理のない範囲で参加できるよう支援する。
- ・学校との連携を密にすることにより、通室生と保護者の不安感を和らげる。
- ・必要に応じて行政と連携し、支援策を検討する。
- ・フリースクールや民間の居場所づくりを行っている方々と連携し、児童・生徒、保護者への指導、支援の充実を図る。

⑥ 令和7年度 二宮町教育支援室「やまびこ」 年間活動計画 （令和7年8月1日現在）

月	教育支援室の活動予定	学校との連携	保護者との連携
4	○野菜栽培	○各種会議で挨拶 ○各種健康診断参加指導	○入室面談（通年）
5		○修学旅行参加指導 ○体育祭、運動会参加指導	
6	○校外学習（17日 足柄ふれあいの村）	○修学旅行参加指導 ○期末テスト参加指導	
7	○ともしびショップ「なのはな」にて職業体験 ○調理実習（お楽しみ会） ○野菜収穫 ○大掃除	○やまびこ連絡会 ○終業式参加指導	○個別面談
8	○2学期の準備通室（夏季休業中2日間）		
9	○校外学習（図書館） ○ともしびショップ「なのはな」にて職業体験	○始業式参加指導	
10	○校外学習（22日～23日 足柄ふれあいの村） ○植物栽培	○文化祭参加指導 ○運動会参加指導	
11	○大磯町教育支援室との交流会（東大果樹園跡地） ○調理実習	○期末テスト参加指導	
12	○校外学習（星槎学園） ○調理実習（クリスマス会） ○大掃除	○やまびこ連絡会 ○終業式参加指導	○個別面談
1	○校外学習（図書館・吾妻山） ○調理実習 ○書初め	○始業式参加指導 ○学年末テスト参加指導 ○卒業アルバム文集の指導	
2	○校外学習（星槎学園・お別れ遠足）	○学年末テスト参加指導	
3	○校外学習（東大果樹園跡地） ○調理実習（卒業・進級祝い） ○大掃除	○やまびこ連絡会 ○卒業式・修了式参加指導	○個別面談

- ・感染症の感染状況により、変更となる場合もある。
- ・児童・生徒の通室状況によって随時計画を変更する。
- ・「やまびこ連絡会」は、通室生が在籍する学校へ訪問もしくは電話連絡をし、担当者と話し合う。

二宮町におけるコミュニティ・スクール取組状況と課題

二宮町教育委員会

二宮町では、コミュニティ・スクールを平成 30 年度に、一色小学校で先行導入し、平成 31 年度からは二宮小学校・山西小学校・二宮中学校・二宮西中学校の 4 校で導入し、町内すべての小中学校がコミュニティ・スクールになった。

また、令和 5 年 4 月からは、町内の公立小中学校が施設分離型小中一貫教育校として「にのみや学園」がスタートした。

○ 各校の取組状況 【年間 各校 4 回開催（部会、イベント等は随時）】

各校の取組状況は以下のとおり。

◆ 二宮小学校【令和 7 年度予定 ①：5 月 30 日、②：9 月 12 日、③：11 月上旬、④：2 月上旬】

- ・ボランティア募集について、今までは学校、PTA、CS のそれぞれで募集をしていたが、募集の仕方や管理方法を変更した。
- ・「にのみや学園」として、横の連携が少しずつでき始めてきた。
- ・8 月 29 日に実施する放課後子ども教室は、学校（2 学期）が始まることを意識していただくために直前にしている。

◆ 一色小学校【令和 7 年度予定 ①：4 月 30 日、②：8 月 27 日、③：12 月中、④：3 月 2 日】

- ・昨年度の一色小学校 60 周年記念事業において、学校運営協議会委員と PTA の情報共有が不足していたため、今年の 4 月から必要に応じて学校運営協議会委員が PTA 運営委員会に出席し、情報共有できるようにした。
- ・学校のイベント等の写真撮影は推進員と PTA 広報委員会が連携していく。
- ・サポート活動については、マニュアルや引継ぎノートを活用している。

◆ 山西小学校【令和 7 年度予定 ①：5 月 15 日、②：8 月 22 日、③：12 月 10 日、④：2 月 27 日】

- ・ボランティア募集に力を入れており、運動会でのアナウンスや昇降口の前での呼びかけを実施した。また、保護者を対象にしたボランティア募集については電話登録からメールアドレスの登録に変更した。
- ・CS の活動内容を知っていただく活動として、流しそうめんや餅つき大会を実施していく予定。
- ・学習支援は先生からの要望があったら探している。
- ・来年度、開校 50 周年を迎えるため、イベント等の相談をしている。

◆ 二宮中学校【令和 7 年度予定 ①：4 月 28 日、②：9 月 9 日、③：11 月 18 日、④：2 月 26 日】

- ・通年を通して授業支援を行う予定。試験前の学習相談を年 3 回実施するに加えて、プラスで夏休みの最初の 1 週間と最後の 1 週間は学習相談を行う予定。
- ・10 月のスポーツフェスマルシェと、3 月の原っぱマルシェに中学生マルシェとして参加する。

◆ 二宮西中学校【令和 7 年度予定 ①：4 月 17 日、②：9 月 4 日、③：11 月 28 日、④：2 月 20 日】

- ・ 西中祭りは今年やるかは未定。地域や保護者の協力が必要。

○ 行政における取組状況

- ・ 令和 6 年度に 3 回、学校運営協議会の代表者、地域学校協働活動推進員、学校長を一同に会した情報交換会を開催している。令和 7 年度も同様の予定。
- ・ 情報交換会については、令和 5 年度より小中一貫にのみや学園の学校運営協議会としての情報共有の場としていくこととしており、他校の学校運営協議会へオブザーバーとしての参加についても可能となっている。

○ 課題

- ・ 学校運営協議会や地域学校協働活動推進員の認知度が広がっていないため、人材募集に苦労している状況である。この課題については、学校運営協議会会長等情報交換会の中でも協議を行っている。

令和7年9月教育委員会議定例会予定

- 1 日 時 令和7年9月26日（金）9時30分から
- 2 場 所 町民センター 3Bクラブ室
- 3 付議事項
- 4 報告・協議事項

※主な行事

- | | | | |
|-----------|--------|-------------|------|
| 9月26日（金） | 9時30分 | 教育委員会議定例会 | 給食試食 |
| | 13時30分 | 学校訪問（一色小学校） | |
| 10月31日（金） | 9時30分 | 教育委員会議定例会 | 給食試食 |
| | 13時30分 | 学校訪問（二宮中学校） | |

■学校訪問（9月26日 一色小学校）について

当日の議論を深めるため、事前に質問事項を集約します。以下の期日までに、ご報告をお願いします。

- ・ 報告方法 任意様式（メール本文への入力でも可）
教育指導課にメールで提出
(ninomiya-shidou@town.ninomiya.kanagawa.jp)
- ・ 報告期日 令和7年9月12日（金）
- ・ その他 集約した質問は、当日の学校からの説明または懇談の中で取り扱っていく予定です。（時間の都合により変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。）

